

# ななむら

第43号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 02-1738

平成30年12月1日現在

世帯数 535世帯

人口 1,558人

(男728人、女830人)

## 今年もいよいよ残りわずかとなりました

光陰矢のごとしと申しますが、あっという間に今年一年も過ぎ去ろうとしております。

皆さまにおかれましては、新年を迎える準備で何かとお忙しい日々をお過ごしのことと拝察いたします。

今年一年、皆さまには照来地区公民館事業の推進に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

お蔭をもちまして、事業の方も順調に進んでおります。今後も、皆さまのご意見をいただきながらより良い公民館にしていきたいと思います。

来年も皆さまにとりましてすばらしい年になりますようご祈念申し上げ、この一年のお礼とさせていただきます。



## 照来の山々で「初冠雪」

先日、照来の山々で初冠雪がありました。

例年になく遅い冠雪でしたが、この冬は暖冬なのでしょうか？それとも今年はカメムシが多く発生したので大雪？

写真では、よくわからないと思いますが、中辻の深山に雪が降っています。

ところで、「深山（みやま）」とは一つの山ではなく、中辻の奥の方に見える高い山々のことを総称して言っていることをご存知でしょうか。

## 「寄せ植え教室」を開催しました！

12月9日（日）照来地区公民館において、正月用の『寄せ植え教室』を開催しました。

この教室を計画したときには、10人の参加があればいいかなと思っていましたら、18人の参加がありました。その中には、男性が2人含まれており、公民館の目指すところの「いつでも、どこでも、誰でも参加できる公民館」の姿に一步近づけた事業になったのではないかと思います。本当に参加いただき、ありがとうございました。

教室では、講師のフラワー装飾一級技能士の杉本りつえさんから、肥料と土の配分や花の配置、花の植え方の注意点等教えていただきました。

教室終了後、杉本先生から「見本として作った寄せ植えは照来地区公民館に置いてください。」と言われ、遠慮なくいただきました。その鉢は、照来地区公民館の玄関に置いてあります。（右下の写真）





## 今後の事業予定

### 1月、2月の事業は計画していません

1月、2月は積雪が予想されるため事業は計画していませんが、「雪があっても計画してほしい」という要望があれば考えてみたいと思います。ご連絡お待ちしております！

### 3月は「野菜づくり講座」

「春まき野菜のつくり方」を予定していますが、内容はまだ決まっていません。

「こんな野菜のつくり方を教えてほしい」というご意見をいただければありがたいと思います。

■連絡先:照来地区公民館長 山本清孝  
☎ 92-1738

## 2018年の漢字は「災」

今年の漢字は「災」に決まりました。

この漢字というのは、財団法人日本漢字能力検定協会が、その年をイメージする漢字の公募を日本全国より行い、その中で最も応募数が多かった漢字一字を、その年の世相を表す漢字として、原則12月12日「漢字の日」の午後、京都市の清水寺で発表するものです。

2月の「北陸の豪雪」、6月の「大阪北部地震」、7月の「西日本豪雨」、9月の「北海道地震」や「台風21号」が発生するなど、災害が相次いだことから選ばれたものです。

私にとっても、災いの多い年でしたが、来年は災いのない良い年になるよう願っています。



## 照来の歴史⑤「照来学校」

本校は明治7年の創設とされているが、その月日は詳らかでない。校舎は照来谷各村の共有家屋を用い、その位置は多子村の内字平野にあり、その校区は、桐岡・多子・切畑・丹土・中辻の五か村であった。

本校には、飯野・塩山二か村を校区とし、巖山寺を校舎とする「飯野支校」と相岡村及び七美郡熊波村の二か村を校区とする「相岡支校」とが置かれていた（町立照来小学校『創立百周年記念誌』）。相岡支校は、明治20年4月照来小学校より分離独立して相岡小学校となった。

なお、この照来学校の創立時の史料は乏しく、確かなことは云えないが、『文部省第二年報』（明治7年分）の「府県公立小学校表」には、但馬国二方郡では竹田村の「竹田学校」とともに丹土村に「丹土学校」の名があり、「明治7年創立、男教員1名、男生徒33人、女生徒8人」と記されている。

しかし、同第3年報（明治8年分）では「丹土学校」の名は消え、代わりに二方郡多子村に「平野学校」の名が挙げられ、「明治6年設立、新築・公有、男教員1人、男生徒48人、女生徒12人、授業料無」とある。

さらに、同第4年報（明治9年分）では「平野学校」の名が消えて、はじめて二方郡多子村に「照来学校」の名が現れ、明治7年設立、新築・公有、男子教員3人、男生徒91人、女生徒24人、授業料無料」とある。

必ずしもすべて正確とはいえないこれらの文部省年報の記載を中心に推論すると、この地域では江戸時代丹土村に寺子屋が一つあったから、それを継承して、明治7年まず「丹土学校」ができたが、翌8年には移転して、多子村平野に「平野学校」ができ、この「平野学校」が翌9年には規模を拡充して「照来学校」と改名した。だが年報は「平野学校」の設立を明治6年としているがこれは「丹土学校」の起源であり、「丹土学校」がその校舎を多子村平野へ移転し、「平野学校」と改名したことによる。

「照来学校」は24年12月にはまた丹土に移転したが、明治7年「丹土学校」の支校として開設された「飯野支校」は17年には「飯野小学校」として独立、22年照来村が発足すると照来・飯野両小学校合併案が起り、永年にわたって結論を見なかったが29年に至って漸く桐岡に校舎を新築することで紛糾を収拾して飯野小学校は26年照来小学校と合併して現在に至る。（温泉町史第三巻より）